



いってきまーすの、 その前に！

走行中の車両トラブルを未然に防止するには、日頃からの点検・整備がカギを握ります。今回は、暑くなる夏に起こりやすい「バッテリー」と「冷却水」に関するトラブルと予防法を紹介します。

バッテリー

エンジン始動時、
「スターターが回りにくい」

もしかすると・・・

バッテリー液が不足している。

そのままにしておく・・・

- エンジンがかからなくなる。
- バッテリーの劣化が早まる。

予防のポイント！

- バッテリーカバーを外し、バッテリーケース内の液面が適正範囲内にあるかを点検。
- 液面がケース側面の「UPPER」と「LOWER」の線の間であれば良好。
- 液面が「LOWER」の線より下の場合、補充液または蒸留水を補給。



*補充した後は必ず充電(走行)してください。
*レベルライン表示のないものは、液面が極板上10mm あれば良好です。

冷却水

車両下の地面が、
「濡れている」「水たまりがある」

もしかすると・・・

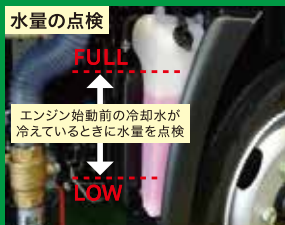
冷却水が漏れている。

そのままにしておく・・・

- オーバーヒートを起こし、路上故障につながる。

予防のポイント！

- 点検はエンジン始動前の冷却水が冷えているときに行う。
- リザーブタンク内の水量が規定の範囲内にあるかを点検。
- 「FULL」と「LOW」の線の間であれば良好。
- 「LOW」より下の場合は、「FULL」の線まで補給。



*高温時は絶対にラジエーターキャップを外さないでください。熱湯や蒸気が噴き出して、やけどをなさるおそれがあります。
*リザーブタンク内が空のときは、ラジエーター本体の水量が不足しています。ラジエーターキャップを開けて給水してください。